

共創型学習 (Creativity Development)

国際交流の扉を拓(ひら)く (Cross-cultural Interactions)

三隅 友子・教授/国際センター, 坂田 浩・准教授/国際センター, 金成海・教授/国際センター

2単位 後期 水 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目:『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

【授業の目的】 私たちのまわりの「文化」を日本人と外国人の視点からとらえ直す。受講者相互の対話を通して「文化」「交流」とは何かを考える。

【授業の概要】 ①国際交流とは, ②異文化理解とは, ③共に生きるとは, をテーマに「異文化コミュニケーション」「日本語と異文化理解」「留学生事情」をはじめとし, 様々な視点から国際センター 3 名の教員が講義する。

【キーワード】 国際交流, 異文化理解, 異文化間コミュニケーション, 言語教育, 人間関係づくり

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 自分なりの国際交流に対する枠組ができる。
2. 自分を中心とした新たな世界観を作る
3. 様々な文化背景を持つ人達とコミュニケーションができる。
4. 「国際人」としての基礎を身につけることができる。

【授業の計画】

1. オリエンテーション
2. 徳島の留学生事情
3. 異文化理解とコミュニケーション (1)
4. 異文化理解とコミュニケーション (2)
5. 異文化理解とコミュニケーション (3)
6. 異文化理解とコミュニケーション (4)
7. 異文化理解とコミュニケーション (5)
8. 異文化理解とコミュニケーション (6)
9. 異文化理解とコミュニケーション (7)
10. 異文化理解と外国語学習 (1)
11. 異文化理解と外国語学習 (2)
12. 異文化理解と外国語学習 (3)
13. 異文化理解と外国語学習 (4)
14. 異文化理解と外国語学習 (5)
15. 異文化理解と外国語学習 (6)

16. 総括

【教科書】 随時プリント等を配付

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 授業への取り組み, レポート, 出席などにより, 担当の 3 教員で総合的に評価する

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 授業の詳細は, 初回で説明するので休まずに出席すること

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221140>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 坂田 (国際センター 教員室 1, 088-656-7199, kobayasi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 * 留学生を交えて授業を展開する場合があります。

Creativity Development

Cross-cultural Interactions

Tomoko Gehrtz- Misumi · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER, Hiroshi Sakata · ASSOCIATE PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER, Cheng-Hai Jin · PROFESSOR / INTERNATIONAL CENTER

2 units 後期 水 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目: 『生活と社会』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『総合科目』)

Target) 私たちのまわりの「文化」を日本人と外国人の視点からとらえ直す。受講者相互の対話を通して「文化」「交流」とは何かを考える。

Outline) ①国際交流とは, ②異文化理解とは, ③共に生きるとは, をテーマに「異文化コミュニケーション」「日本語と異文化理解」「留学生事情」をはじめとし, 様々な視点から国際センター 3 名の教員が講義する。

Keyword) 国際交流, 異文化理解, 異文化間コミュニケーション, 言語教育, 人間関係づくり

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 自分なりの国際交流に対する枠組ができる。
2. 自分を中心とした新たな世界観を作る
3. 様々な文化背景を持つ人達とコミュニケーションができる。
4. 「国際人」としての基礎を身につけることができる。

Schedule)

1. オリエンテーション
2. 徳島の留学生事情
3. 異文化理解とコミュニケーション (1)
4. 異文化理解とコミュニケーション (2)
5. 異文化理解とコミュニケーション (3)
6. 異文化理解とコミュニケーション (4)
7. 異文化理解とコミュニケーション (5)
8. 異文化理解とコミュニケーション (6)
9. 異文化理解とコミュニケーション (7)
10. 異文化理解と外国語学習 (1)
11. 異文化理解と外国語学習 (2)
12. 異文化理解と外国語学習 (3)
13. 異文化理解と外国語学習 (4)
14. 異文化理解と外国語学習 (5)
15. 異文化理解と外国語学習 (6)

16. 総括

Textbook) 随時プリント等を配付

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 授業への取り組み, レポート, 出席などにより, 担当の 3 教員で総合的に評価する

Re-evaluation) 無

Message) 授業の詳細は, 初回で説明するので休まずに出席すること

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221140>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Sakata (国際センター 教員室 1, +81-88-656-7199, kobayasi@isc.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Note) * 留学生を交えて授業を展開する場合があります。